

# 父母の強き継ぎ こぎ出す夢舞台

## ボート女子で五輪切符

韓国で二十九日あったボートのロンドン五輪アジア予選の女子シングルスカルで、早稲田大一年の榎原春奈選手(こ)＝愛知県立旭丘高出身＝は一位となり、五輪出場を決めた。両親ともボート選手の恵まれた素質と努力で、競技を始めてわずか三年で夢舞台にたどり着いた。＝②＝

### 面参照

父章浩さん(まも)、母由(よ)驚いている」。自身がが紀子さん(きこ)はともに現 なわなかった五輪出場を役時代、世界選手権に出 娘が果たし、章浩さんは場。「わが子ながら、予 名古屋市東区の自宅で喜想をはるかに超えてい んだ。る。夢みたいで親が一番 両親からボートのこぎ

### 旭丘高出身・早大の榎原選手



女子シングルスカルで五輪出場を決め、表彰台でメダルを掲げる榎原春奈選手＝29日、韓国・忠州で(共同)

方などの基本は学んでいしたが、中学は合唱部。高校進学とともにボート部に入ると一八二センチ、七三キログラムの体格を生かして急成長。昨年の世界ジュニア選手権で七位に入った。もともと運動センス抜群ではなく「家の階段で転んで骨折するほどだった」と振り返る章浩さん。「一定の力を出し続ける持久力の強さがボートに向いていた」と分析する。

四人きよつたいの三番目でのんびりしていた性格も自覚めた。旭丘高ボート部顧問の山本芳敬さん(まも)は「諦めない心の強さがある」と言う。高校一年のころ足を痛めて三カ月間練習できなかった時も、めげずに腕の筋力トレーニングを繰り返していた。由紀子さんとともに韓国で観戦した旭丘高の青山美紀コーチ(きよ)も「周りの支えもあるが、何よりも本人の努力」と感慨深げだった。

体重無制限で、パワーに勝る欧米勢が上位を占める女子シングルスカルでの五輪出場は日本勢で初。章浩さんは「世界でどこまで戦えるか楽しみ」と期待した。